

# 市長が行く

No.17



茂原市長 田中豊彦

## 現場主義

民主党政権が発足して、4カ月が過ぎたが、何か具体的に良くなったと言えることがあるだろうか？そう一朝一夕にはいかないことは十分承知しているつもりだが、前政権を批判ばかりしていたわりには、一歩も前に進んでいないように感じられる。

国が市町村の現状をあまりにも知らなさすぎると、憤りを感じることも多い。例えば今、農家の個別補償がマスコミにも取り上げられているが、今の段階では、茂原市の農家戸数（販売農家）約1570戸のうち、21年度実績から推計すると戸別補償に該当するのは、たった5戸に過ぎない。新型インフルエンザのワクチン接種でも、方針がコロコロ変わり、医師会との細かい調整は、すべて市町村任せだった。また、子ども手当にいたっては、あんなに騒いでいたのに、結局以前のままの地元負担になってしまった。国の方針がはつきりしないため、市町村はいつも振り回されてしまう。いったい国は何を考え、何を基準としているのだろうか。

とを決めようとしているのか？国は、市町村の問題点をどこまで理解しているのか？自分たちが決めたことの責任をどうとるつもりなのか？最後の尻拭いはいつも末端の市町村任せでは、たまったものではない。

私は、どんな問題でもそれを解決するためには、現場を知らなければならない。現場をえている。机上の空論では、どんなに立派な意見でも、ゴミに等しい。国にも、また県にも言えることだが、もつと市町村の現状を知ってほしいと思う。私は、医療問題にしても、教育問題にしても、福祉問題にしても、いつも現場の声を聞き、公正に判断し、厳しい予算ではあるが選択と集中で取り組んでいきたいとの思いを常に持っているつもりである。

「現場主義」今年もこれでいきたいが、厳しい財政のなか、いきたいどこまでいけるだろうか？

\*行き行きて 倒れふすとも

萩(藻)の原

く奥の細道 曾良そらの句よりく